

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	緩和ケアと終末期看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時間	通年	教室名	各教室
担当教員	伊藤裕子	実務経験と その関連資格	総合病院で勤務、がん化学療法看護認定看護師の経験あり			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>様々な疾患の全人的苦痛とその家族の苦悩を理解し、緩和ケアの基本について学ぶ 患者とその家族が抱える全人的苦痛・苦悩を理解し、緩和に向けて必要な技術・知識を学ぶ 終末期の特徴、終末期における患者・家族を理解し、終末期の看護を学ぶ</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験・出席状況並びに事前課題レポート、課題提出状況にて総合的に判断する</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>系統看護学講座基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア □ 系統看護学講座 別巻家族看護学(参考図書)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>事前課題、課題レポート 授業の振り返りをまとめる</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>患者・家族の全人的苦痛とは何か、緩和ケアとは何か、終末期看護とは何か、を考えながら教科書を読み事前学習をして授業に臨むこと</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアについて概要をまとめることができる	教科書他	事前課題に取り組む	
		各コマにおける授業予定	緩和ケアの現状と展望 ・緩和ケアの歴史と発展 ・緩和ケアの理念 ・緩和ケアの展望			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアにおけるチームアプローチ、コミュニケーション、倫理的課題について説明することができる	教科書他	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	緩和ケアにおけるチームアプローチの意義 緩和ケアにおけるコミュニケーションの基本的知識 緩和ケアにおける倫理的課題:意思決定支援			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的・心理的ケア・社会的・スピリチュアルケアについて説明することができる	教科書他	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	全人的ケアの実践 ・身体的ケア:苦痛をやわらげ日常生活を営むための援助			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体的・心理的ケア・社会的・スピリチュアルケアについて説明することができる	教科書他	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	全人的ケアの実践 心理的ケア:病によるストレスへの対処の力とその支援 ・社会的ケア:住み慣れた地域での暮らしの支援 スピリチュアルケア:「生、老、病、死」に向き合う力を育てる			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	緩和ケアの広がりについて説明することができる	教科書他	事前課題に取り組む 授業内容をまとめ復習する。	
		各コマにおける授業予定	・ライフサイクルにおける広がり ・さまざまな疾患における広がり ・療養の場の広がり:地域・施設・在宅			

